

「玉津地区」再編復旧の概要

1 玉津地区の構想（R元. 7月末時点）

(1) 計画農地面積

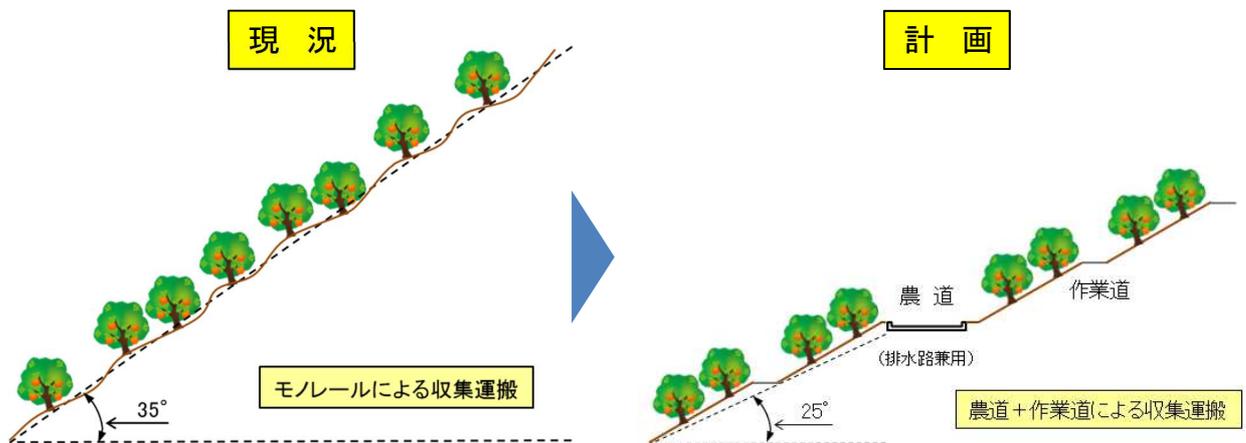
6.8ha（白浦工区 2.4ha、法花津工区 4.4ha）

(2) 実施事業

農地中間管理機構関連農地整備事業（国62.5%、県27.5%、市10.0%）

(3) 基盤整備（区画整理）

園地を緩傾斜化し、排水機能を備えた農道や園内作業道を整備。



(4) 担い手への農地集積

基盤整備後の農地を担い手（認定農業者）に集積。（集積率33% ⇒ 100%）

(5) 営農

担い手の所得向上や周年供給体制の強化を図るため、主力品種の温州みかんに加え、新たな有望品種の導入も検討。

2 今後の予定（想定）

(1) 工事のスケジュール

R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
計画策定	測量設計	区画整理工事				換地処分
(農地中間管理機構関連農地整備事業)						

(2) 事業採択に向けたスケジュール

R元年8月～ 事業計画書作成（基盤整備・換地・営農・集積計画）

農地中間管理権設定

11月末 事業の採択申請（県→国）

R2年4月 事業採択通知（国→県）

<参考1> これまでの取り組み

1 3つの復旧方法の提示

県では、平成30年7月に発生した西日本豪雨で甚大な被害を受けた柑橘園地の復旧にあたり、原形・改良・再編の3つの復旧方法を提示。

① 原形復旧	・被災園地を被災前に近い形状で復旧
② 改良復旧	・隣接する未被災園地を合わせて小規模に整備
③ 再編復旧	・周辺の未被災園地を合わせて広範囲で区画整理を実施。 ・園地の緩傾斜化や道路、水路の整備を総合的に行う。 ⇒ <u>災害に強く生産性の高い園地として再生</u>

2 地元の合意形成の後押し

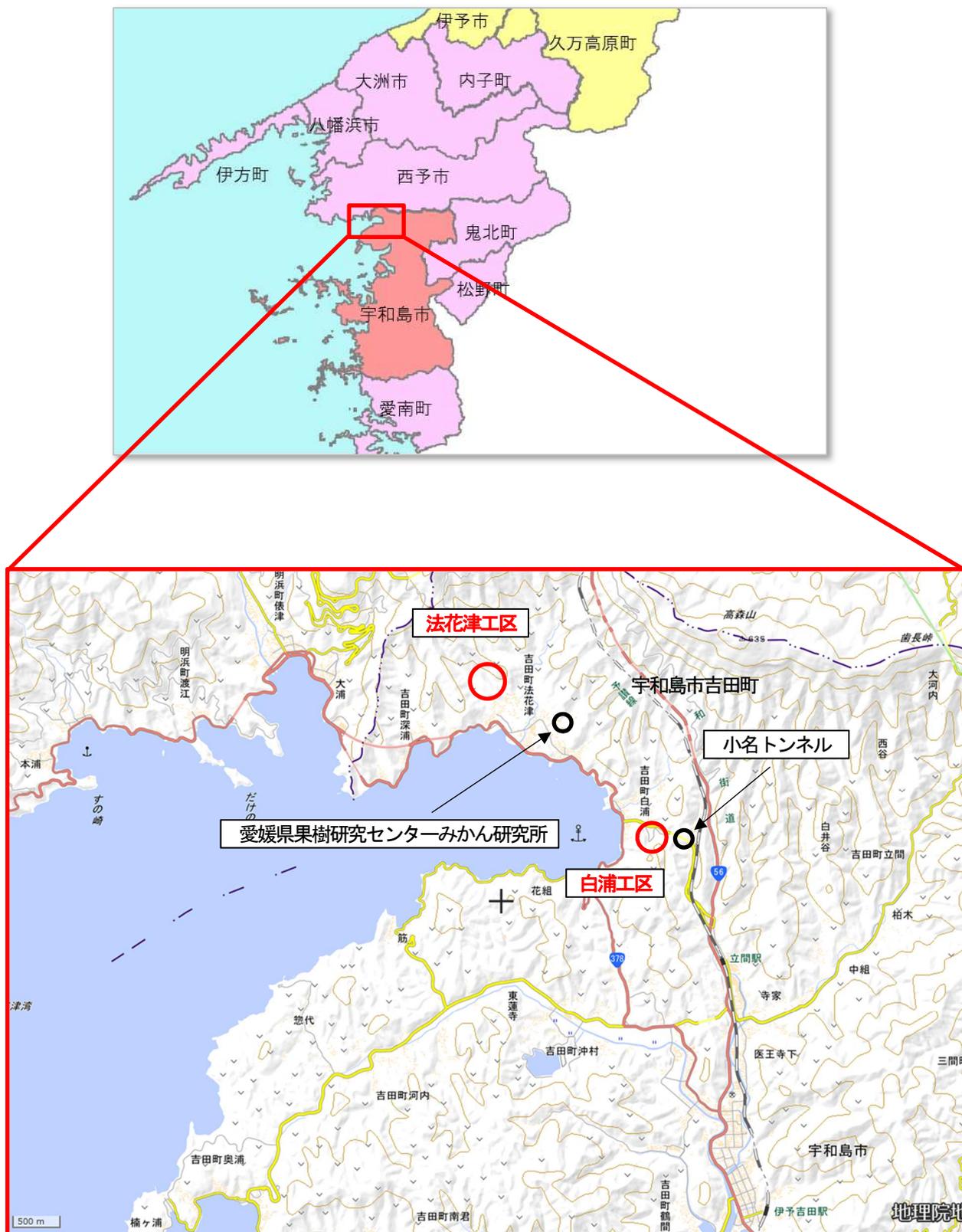
農地復旧モデル計画策定事業を予算計上（平成30年7補正）し、再編復旧の検討を希望する県下10か所のモデル地区において、区画整理後の園地をイメージできる整備構想図等を提示するなどして、関係市町、JA、農地中間管理機構等と連携し、地元が最も良い復旧方法を選択できるよう合意形成を後押し。

<モデル地区の復旧方法の見通し>

市町名	地区名		復旧方法	状況
今治市	大三島	さかり 盛	再編復旧	同意取得準備中
		いのくち 井口		
松山市	高浜		改良復旧	測量設計完了 (9月着工見込み)
	興居島	ゆら 由良	再編復旧	事業計画策定中
宇和島市	玉津	ふかうら ほけづ 深浦・法花津	再編復旧	事業計画策定着手 を決定
		しろうら 白浦		
	立間	こな 小名	改良復旧	測量設計中
		しらいだに 白井谷	原形復旧 再編復旧 <small>の何れか</small>	復旧方法を検討中
	喜佐方	おきむら 沖村	原形復旧	測量設計中
かわち 河内		改良復旧	測量設計中	

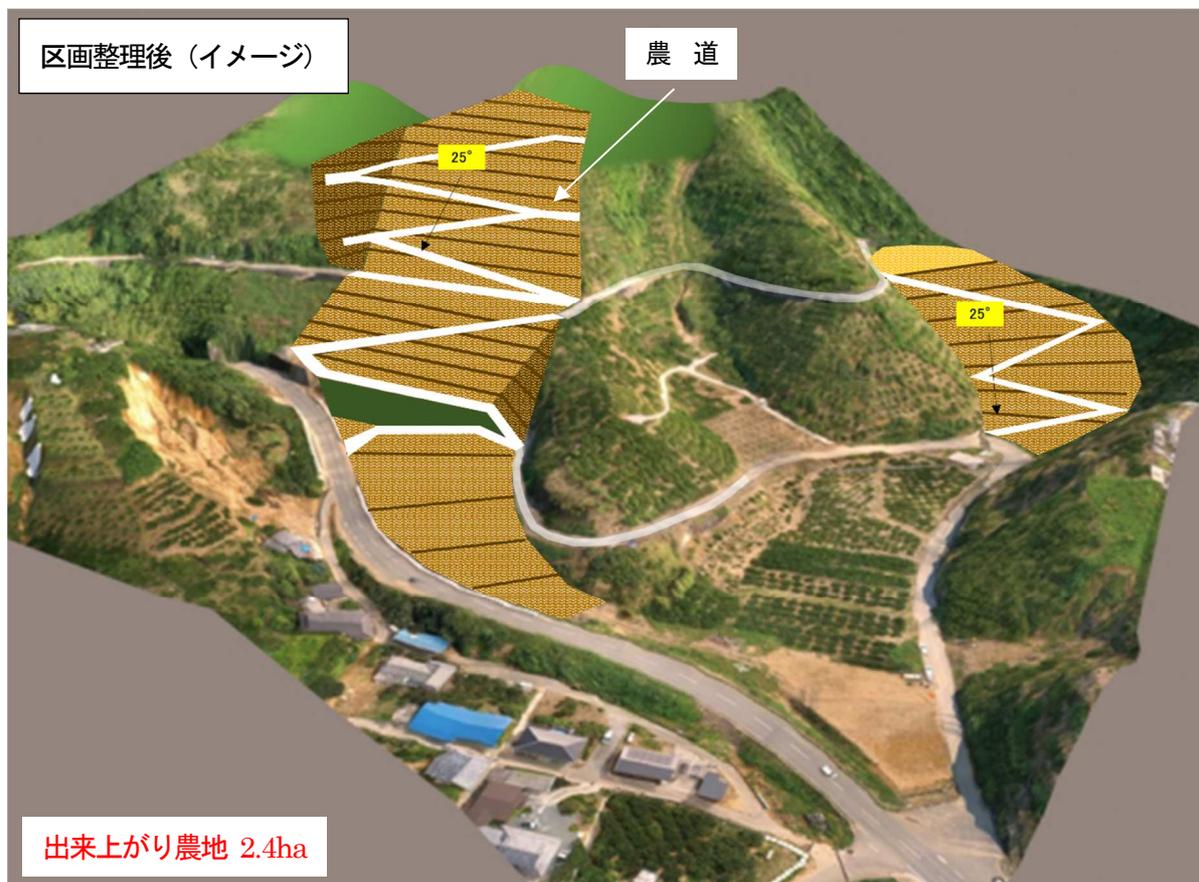
<参考2> 玉津地区整備構想図

○ 位置図

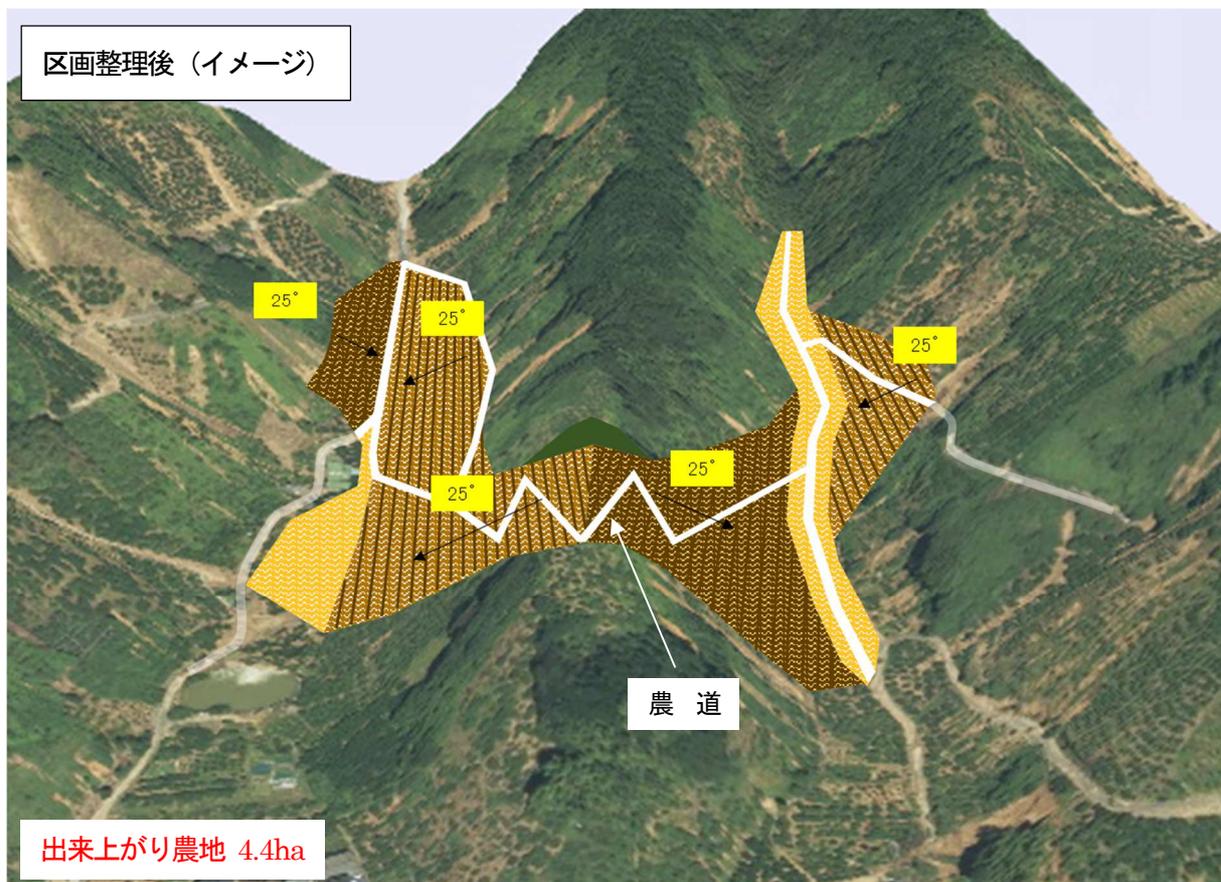


※「国土地理院の電子地形図（タイル）」に施設名等を表記して掲載

○ 白浦工区 整備構想図 (R元. 7月末時点)



○ 法花津工区 整備構想図 (R元. 7月末時点)



※法花津工区は「国土地理院撮影の空中写真 (2018年撮影)」に復旧イメージを追記して掲載